

[第1分科会] 第4回分科会の御意見のうち
反映するもの以外の御意見の取扱いについて

No.	政策	御意見（要約）	取扱い
1	政策1 活力ある 地域産業の育成	「人口減少に伴う域内需要の縮小」が課題となっているが、これに対してどのような取組があるのか。一般的に人口が減少していくと、物品販売も建設事業も全て縮小していく。そのことに対する取組が見えにくい、必要なのは域外からの金。外から来た人に金を落としてもらわないといけない。	個別の事業を実施する際の参考にします。 (1-3-1「域外からの所得獲得と域内での所得循環の促進」にも記載。)
2	政策2 時代の 変化を先取りした 産業振興	「DXの推進」とあるが、なぜ青森の人はDXに取り組めていないのか。そういった人にどのような支援ができるのだろうか。	個別の事業を実施する際の参考にします。 (1-2-1「市内産業へのDXの推進」にも記載。)
3	政策2 時代の 変化を先取りした 産業振興	人口減少の中でも新たなサービス産業はあり得る。例えば洋上風力。基地港湾に指定されると様々な需要が生まれるが、製造業やその下請け・孫請けのための窓口紹介サービスのようなものがあるといいのではないか。	個別の事業を実施する際の参考にします。
4	政策2 時代の 変化を先取りした 産業振興	【第3分科会での御意見】 青森港の基地港の話が正式に決まってくると思うが、青森市の物流のやり方が変わるんじゃないかと思っている。最近ではカーボンニュートラルポートなどのキーワードが飛び交っており、青森市がどう変わっていくかを示せばいいと思う。決してネガティブになる必要はなく、せっかく国の施策として走り始めているので、上手に乗る方が賢いのではないか。	個別の事業を実施する際の参考にします。

5	政策 2 時代の 変化を先取りした 産業振興	<p>【第 3 分科会での御意見】</p> <p>おそらくグリーントランスフォーメーションであれば経済産業省関係だと思う。カーボンニュートラルレポートは国土交通省で始まっているので、漏れがないようカバーしてもらえればと思う。</p>	個別の事業を実施する際の参考にします。
6	政策 3 地域の 特性を活かした 市場開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS も多様化しており、ターゲットに合わせた使い方をしないと効果が出ないことが実証されている。ターゲットをきちんと定める必要がある。 ・ 物産展や商談会にはこれまでも出店してきた。その場では売れるかもしれないが、それだけでは商売にはならない。SNS などを活用した情報発信が非常に大事になってくる。 	個別の事業を実施する際の参考にします。
7	政策 3 地域の 特性を活かした 市場開拓	「市産農水産物のブランド力向上」とあるが、ブランド数は増やしていった方がいいのか、または今あるブランド価値をさらに高めていった方がいいのか。	個別の事業を実施する際の参考にします。
8	政策 3 地域の 特性を活かした 市場開拓	多くのクルーズ船が寄港しても、船内の食事に市の食材は全く使われていない。食材はまとめてどこかで仕入れているはずである。その市場を開拓してはどうか。	個別の事業を実施する際の参考にします。
9	政策 3 地域の 特性を活かした 市場開拓	ブランド力を向上させることも大事だが、相手のニーズを調査することも大事。	<p>個別の事業を実施する際の参考にします。</p> <p>(1-3-2「ブランド化・高付加価値化の推進」にも記載。)</p>

10	政策 4 国内外 の観光需要の取り 込み	クルーズ船の客に金を落としてもらうためには、「ランドオペレーション」が効果的であり、その取組を強く進める。また、これからは多少高額であってもプレミアムな対応をする「ランドオペレーション」があってもいいだろう。	個別の事業を実施する際の参考にします。
11	政策 4 国内外 の観光需要の取り 込み	クレジットカードが使えずに帰ってしまうクルーズ船の客もいる。これでは、いくら津軽塗の商品を買ってもらいたくても売れるわけがない。	個別の事業を実施する際の参考にします。 (1-4-3「受け入れ態勢の強化と効果的な情報発信」にも記載。)
12	政策 4 国内外 の観光需要の取り 込み	クルーズ船の客には目的がある。春は桜、夏はねぶた。ただ、それらには行かず、ゆっくり過ごしたいと思っている人もいるはずである。その人たちの市内での回遊を促していかなければならない。クルーズ船の経済効果は客にいくら使ってもらうかである。	個別の事業を実施する際の参考にします。 (1-4-1「充実した交通網を活かした立体観光の推進」にも記載。)
13	政策 4 国内外 の観光需要の取り 込み	ナイトライフをどう考えるか。観光資源として桜、ねぶた、八甲田スキーなどあるが、それぞれ普通に飲んで楽しめる時間があまりにも短い。	個別の事業を実施する際の参考にします。
14	政策 4 国内外 の観光需要の取り 込み	市内の寺で寺社泊はできないだろうか。インバウンドを考えたときに、ニューツーリズム的なものへの環境整備も必要なのではないか。	個別の事業を実施する際の参考にします。

15	政策5 連携や交流による地域活力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口のデータベースを作ってはどうか。 ・人口減少が市の産業に直結することは明らか。その足りない手をどこから借りてくるのか。それには関係人口のデータベースがあるといい。それはまだ夢の話ですが。 ・学校の先生からも、子どもたちが何かをやりたいと言ったときに、誰を紹介したらいいのかわからないと言われた。周りにこういう人たちがいるということが分かるデータベースはあった方がいい。 	個別の事業を実施する際の参考にします。
----	---------------------	---	---------------------

No.	その他計画全般に関する御意見（要約）及び取扱い	
16	<p>この取組の中で優先順位はあるのか。1年目はここまで、2年目はここまでという具体的なものが必要なのではないか。</p> <p>【取扱い】</p> <p>総合計画の推進に当たっては、何かを優先的に取り組んでいくのではなく、将来都市像「みんなで未来を育てるまちに」の実現に向け、各政策、施策、主な取組その全てに取り組んでいくこととしています。</p>	
17	<p>これらの取組全般に言えることだが、基準が見えない。どのくらいやれば達成できたと言えるのか。</p> <p>【取扱い】</p> <p>各施策に最低1つの「目標とする指標」を設定し、毎年度、その達成状況について評価することとしています。</p>	
18	<p>「大学等と連携した起業マインドの涵養」とあるが、起業マインドの涵養だけで終わるのではなく、きちんと目標を設定することでフィードバックもできるのではないか。</p> <p>【取扱い】</p> <p>同上。</p> <p>なお、各施策にぶら下がる具体の事務事業についても「評価指標（目標値）」を設定し、毎年度、その達成状況や施策への貢献度、費用対効果等による事業点検を実施することとしています。</p>	